学校番号	207

令和2年度　国語

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	5	年次	1
使用教科書	現代文「国語総合　改訂版」（大修館書店）、古典「国語総合　改訂版」（大修館書店）						
副教材等	重要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版）、論読現代文２（浜島書店）、最新国語便（浜島書店）、体系古典文法（数研出版）、漢文必携 四訂版（桐原書店）、力をつける古典ステップ１（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ

（現代文）
・説明的な文章（評論など）では、「筆者の意見」やその意見が出てくるまでの「論理展開」を的確に読み取る力を身につけていきましょう。
・文学的な文章（小説など）では、登場人物の「心情」を的確に読み取り、なぜそのような心情になったのかを客観的に理解できるようになっていきましょう。
・説明的な文章、文学的な文章の両方で、読み取った意見や心情を論理的に説明し、またそれに対しての自分の意見を文章や発表の形でクラス内で共有する力を付けていきましょう。
（古典）
・古文、漢文の世界に親しみ、田路の人々の感性や考え方に触れながら、自己の考えを深めていきましょう。
・１年次に学習した文法事項や句法・句形を復習し、正しく理解しましょう。
・予習として、音読、意味調べ、現代語訳、文法事項の確認をしてから、授業に臨みましょう。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・自ら進んで読書をし、本の世界を想像したり味わったりする。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （提出物、ワークシート等） ・小テスト	・行動の観察及び確認 （発表、討論等）	・記述の確認及び分析 （提出物、レポート等） ・定期考査	・記述の確認及び分析 （提出物、ワークシート等） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （提出物、ワークシート等） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動（現代文）

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			関	話	書	読	知		
1学期	ガイダンス		○	◎			○	a. 必要なことを、間違いなく、過不足なく聞き取ろうとしている。 b. 話し合うことの目的が、合意を形成したり思考の深化を図ったりすることであることを認識している。 e. 正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 行動の観察 b. 行動の観察及び確認 e.
	評論の内容を理解するⅠ	山崎正和「水の東西」 西研「自由な主体に必要な「尋ねあい」」 高階秀爾「「美しさ」の発見について」 鷲田清一「他者を理解するということ」	○			◎	○	a. 文学的な文章（又は、論理的な文章、実用的な文章）を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。 d. 文学的な文章（又は、論理的な文章、実用的な文章）を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。 e. 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認及び定期考査 e. 行動の観察
	小説の内容を理解するⅠ	芥川龍之介「羅生門」 夏目漱石「夢十夜」	○			◎	○	a. 文学的な文章（又は、論理的な文章、実用的な文章）を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認及び定期考査 e. 定期考査
2学期	評論の内容を理解するⅡ	中村桂子「「知る」ことと「わかる」こと」 池上嘉彦「言葉についての新しい認識」 平川克美「グローバル化とグローバリズム」 原島博「メディアとしての顔」	○		◎		○	a. 「現状認識－問題提起－解決－結論－展望」など、文章の組立てや進め方を工夫して書こうとしている。 c. 相手や目的などによって、簡潔な述べ方や丁寧な述べ方、断定的な述べ方や婉曲的な述べ方などを適切に使い分けている。 e. 書くことに必要な文の組立てについて理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 c. 記述の確認及び定期考査 e. 記述の確認
	小説の							a. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	a. 行動の観察及び記述の点検

2学期	内容を理解するⅡ	林京子「友よ」 葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」	○			◎	○	d. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e. 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	d. 記述の確認及び定期考査 e. 定期考査
3学期	評論の内容を理解するⅢ	内田樹「意味と身体」 原研哉「白」	○		◎		○	a. 説明するとき、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを適切に書き分けようとしている。 c. 書く相手や目的にふさわしい材料を、多様な方法で収集し、用途などに応じて適切に選ぼうとしている。 e. 正しく理解し使いこなせる言葉の数を増やしている。	a. 記述の点検 c. 記述の確認及び分析 e. 記述の確認
	小説の内容を理解するⅢ	志賀直哉「城の崎にて」	○	◎			○	a. 内容がよく伝わるよう、資料や機器などの用い方を工夫して分かりやすく話そうとしている。 b. 自分の考えが、根拠から妥当な論理の展開で導き出されていることを相手に分かりやすく示している。 e. 話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 b. 記述の確認及び定期考査 e. 記述の確認
	短詩形文学を味わう	短歌　十五首	○			◎	○	a. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d. 文章の構成や展開を確かめ，情景や心情が効果的に表現できているかどうかを考察している。 e. 伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認及び定期考査 e. 定期考査

※　表中の観点について　関…関心・意欲・態度　話…話す・聞く能力　書…書く能力
読…読む能力　知…知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。

※　その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

4　学習の活動（古典）

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			関	話	書	読	知		
1学期	古文入門	宇治拾遺物語 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 今昔物語集 「阿蘇の史、盗人にあひてのがるること」 用言、他	○			◎	○	a. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d. 文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e. 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	漢文入門	故事成語 「漁夫の利」 「蛇足」	○			◎	○	a. 文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。 d. 文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e. 漢文を読むことに役立つ、訓読の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 定期考査
	古文の随筆を読む	徒然草 「これも仁和寺の法師」 「奥山に猫またといふもの」 「ある人、弓射ること習ふに」 「高名の木登り」 「花は盛りに」 助動詞	○			◎	○	a. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身に付けている。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	古文の和歌を味わう	伊勢物語 「芥川」 「東下り」	○			◎	○	a. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d. 人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e. 和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	様々な漢文を読む	十八史略 「先従隗始」 「鶏鳴狗盗」 唐代の漢詩 雑説	○			◎	○	a. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 読むことに必要な語句の用法について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査

2学期	様々な古文を読む	土佐日記 「門出」 「帰京」 枕草子 「春はあけぼの」 「虫は」 「はしたなきもの」 「雪のいと高う降りたるを」 竹取物語 「なよ竹のかぐや姫」 敬語	○			◎	○	a. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。	a. 行動の観察及び記述の点検 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
	漢文の物語を読む	十八史略 「先従隗始」 文章 「雑説」	○			◎	○	a. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 d. 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e. 読むことに必要な文の組立て（又は、文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方）について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 小テスト及び定期考査
3学期	様々な古文を読む	平家物語 「木曾の最期」 古今和歌集 玉勝間 「古よりも後世のまされること」	○			◎	○	a. 和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 読むことに必要な語句の用法について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 定期考査
	漢文の思想を理解する	孔子と孟子の思想 「学問」「政治」	○			◎	○	a. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。 d. 文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。 e. 読むことに必要な語句の用法について理解している。	a. 行動の観察 d. 記述の確認と分析及び定期考査 e. 定期考査

※　表中の観点について　a…関心・意欲・態度　b…話す・聞く能力　c…書く能力
d…読む能力　e…知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を付している。

※　その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。